

面接対策

・ 志望理由

私は、スピントロニクス応用研究をして社会に貢献したいと考えている。貴学はスピントロニクスにおける世界のトップランナーであり、研究環境が充実している。私は貴学の中でも TMR センサーを応用したウェアラブル脳磁場検出の研究をしている大兼研究室に興味を持ったため貴専攻を志望した。

・ 卒業研究について

・ なぜスピントロニクスに興味を持ったか

物性物理を勉強していくと最先端の研究としてスピントロニクスが紹介されており、調べてみると応用の幅が広く、基礎研究との距離が近い研究であり、基礎研究を応用したいという自分の興味と一致したため。

・ なぜ超伝導からスピントロニクスを選んだか

超伝導を勉強している中で、磁性の奥深さから磁性の研究に興味を持ち、磁性の研究で最先端の研究であるスピントロニクスを学びたいと思ったため。

・ 卒業研究と分野が違うがなぜか(成田組)

・ 志望している研究室でやりたい研究テーマとその理由(全員)

私は、大兼研究室で TMR センサを用いたウェアラブル脳磁計の研究をしたいと考えている。理由は、ウェアラブル脳磁計の応用範囲は広く、大変興味深い研究であるから。ウェアラブル脳磁計の感度を向上させる材料の研究をしたいと考えている。その際に資源安全保障上の観点からなるべく少ないレアメタルでより高感度なセンサを作る研究をしたいと考えている。

・ 博士後期課程に進学するか(日影さん)

博士課程への進学は前向きに考えている。貴専攻は研究設備が充実しており専門性を高めるのには最適な環境である。また、奨学金も充実している。スピントロニクス国際共同大学院などの RA 雇用もあり大変魅力的だ。

・ **第二志望にも興味はあるか(日影さん)**

興味はある。しかし、私の研究したい分野は大兼研究室であったため、第二志望にさせていただいた。

・ **学部時代に頑張ったこと(日影さん)**

英語を積極的に勉強していた。毎日の生活の中に英語を取り込み、元々 380 点であった TOEIC の点数を 760 点まで伸ばした。

・ **一般入試の内容は学部でも勉強していたか(日影さん)**

勉強していた。私は講義を受けるだけでなく、専門書を自発的に読んで勉強していた。

・ **最近興味を持ったニュースは何か(オリジナル)**

電力ひっ迫が予想されるというニュースです。

・ **自己紹介してください**

岩手大学理工学部物理・材料理工学科数理・物理コース松川・谷口研究室所属 4 年の上野智也です。卒業研究では二重鎖金属系超伝導体の物性に関する研究をする予定です。

・ **強みを教えてください**

私の強みは粘り強く努力ができることです。この粘り強さで英語を毎日勉強し、TOEIC の点数を 380 点から 760 点まで伸ばすことに成功しました。貴専攻に入学後もこの粘り強さを生かして活躍したいと考えております。

・ **短所を教えてください**

私の短所は考えすぎてしまい、不安に陥りやすいところです。ありえないことまで想像してしまい、不安に陥ってしまうことがあります。この短所を改善するため、不安ながらも行動してみるということを心掛けています。例えば、外部の大学院入試はとても心配でしたが、研究室見学のメールを送ってみるなどです。

・尊敬する人を教えてください

私は両親を尊敬しています。両親はともに高卒で 40 歳の時にリストラを経験しつつも私を大学まで育て上げてくれました。その精神的強さは大いに尊敬に値します。

・挫折経験を教えてください

私の挫折経験は大学受験の推薦入試に落ちたということです。私は、当時第一志望であった大学に合格するために高校二年生のときから受験勉強をしていました。しかし、入試に落ちてしまい人生で初めて大きな挫折を味わいました。この経験から私は、単純な努力ではなく方向性まで見据えて効率よく努力しなくてはいけないということを学びました。この学びは大学で大いに生かされ専門科目の単位は落とさず、成績優秀者に選ばれることや TOEIC で高得点を取ったりしました。自分の人生を軌道修正できた良い経験であったと思います。

・卒業後の進路を教えてください

博士後期課程に進学し、専門性を高めたい。また、博士後期課程卒業後は企業の研究所に就職し、学生時代に培ったスキルを活かして活躍したい。具体的な就職先は村田製作所や TDK などの電子部品の企業があげられる。